資料４

ア　拠点循環バス実証運行の継続等について

１　これまでの経緯について

①第１期実証運行

期間	令和３年 11 月１日（月）～令和４年３月 31 日予定 →令和４年 10 月 31 日まで延長⇔令和５年３月 24 日まで再延長
便数/ 所要時間	平日：８往復（始発～最終着） 休日：５往復（平日の始発便、最終便を除く） 所要時間：約 26 分
主な停留所等	役場⇔柏谷公園⇔湯～トピア⇔伊豆仁田駅⇔道の駅

②第２期実証運行

期間	令和５年４月１日（土）～令和６年３月 31 日（日）
便数/ 所要時間	平日：５往復（役場始発 6：50～最終着 18：05） 休日：平日と同じ 所要時間：約 50 分
主な停留所等/変更点	利用者が少なかった始発便及び最終便の往復を廃止 お昼時に道の駅を利用し、帰ることができるように時刻表を再編 買い物利用等のニーズを受け、熱函商店街、間宮を経由 役場⇔柏谷公園⇔湯～トピア⇔岐れ道⇔熱函商店街⇔伊豆仁田駅⇔間宮⇔道の駅

③第３期実証運行

期間	令和６年６月１日（土）～令和６年９月 30 日（月）予定
便数/ 所要時間	第２期と同じ
主な停留所等/変更点	時刻表・停留所ともに、第２期と同じ 運行事業者：函南タクシー株式会社に変更 車両：ジャンボタクシー（定員：10 名）に変更

２　目標値

１便あたり利用者数：５人／１便

１か月あたり停留所利用者数：60 名／１か所

資料４

３　運行実績について

①便別利用者数

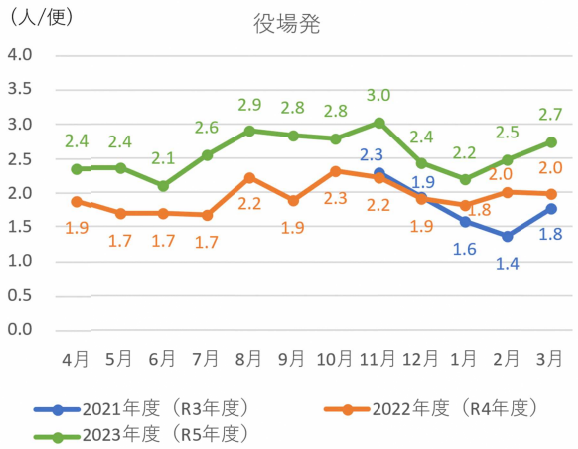
各月の利用者数については、以下のとおりです。

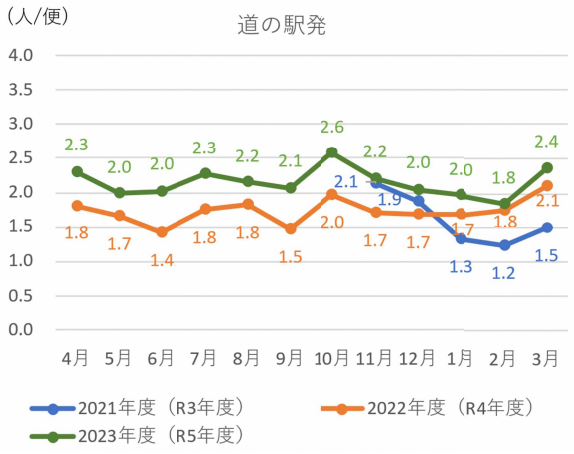
目標値の１便あたり利用者数：５人／１便は、「未達」となっています。

	利用者数（人）	１便あたり利用者数			
		道の駅行き		役場行き	
		（平日）	（土日祝）	（平日）	（土日祝）
R5.４月	702	2.5	2.2	2.6	1.7
R5.５月	674	2.5	2.1	2.3	1.4
R5.６月	620	2.2	1.8	2.0	2.0
R5.７月	749	2.8	2.1	2.5	1.8
R5.８月	784	3.1	2.4	2.3	1.8
R5.９月	737	2.9	2.5	2.1	1.7
R5.10月	833	3.0	2.5	2.8	2.2
R5.11月	786	2.8	3.6	2.0	2.5
R5.12月	693	2.9	1.5	2.4	1.4
R6.１月	644	2.4	1.8	2.1	1.7
R6.２月	627	2.9	1.7	1.9	1.7
R6.３月	791	3.0	2.4	2.5	2.1

【参考-1】便別利用者数の推移（平日/土日祝　合算）

第２期実証運行（2023年度：熱函商店街、間宮を経由するルートに変更）以降、便別利用者は2.1人以上となり、ルート見直しの効果が確認できる。





資料４

②１か月あたり停留所利用者数（R5.4～R6.3）

各停留所の１か月あたり利用者数については、以下のとおりです。

目標値の１か月あたり停留所利用者数：60 名／１か所に対し、55.4 名となり、「未達」となっています。個別停留所で目標値を超えた停留所は、全 26 停留所中、10 停留所（着色箇所）となっています。そのうち、第２期実証運行（2023 年度：熱函商店街、間宮を経由するルートに変更）で設置した文化センター前、函南中学校、間宮が含まれています。

（人）

停留所名	（往路）	（復路）	（合計）	（月当たり）
函南町役場	827	670	1,497	124.8
柏谷区公民館	567	357	924	77.0
養源寺	76	108	184	15.3
柏谷公園西	677	102	779	64.9
わかくさ共同作業所	1,037	721	1,758	146.5
柏谷公園西	142	357	499	41.6
湯～トピアかんなみ	394	373	767	63.9
仁田マーガレット保育園	81	54	135	11.3
仁田	247	95	342	28.5
岐れ道	265	365	630	52.5
文化センター前	491	393	884	73.7
函南中学校	465	313	778	64.8
間宮東	114	121	235	19.6
函南中学校第二グラウンド	105	99	204	17.0
クリエイト SD 函南南仁田店	186	329	515	42.9
田方農業高校	193	128	321	26.8
伊豆仁田駅	1,568	971	2,539	211.6
間宮	564	539	1,103	91.9
新町	241	228	469	39.1
東部浄化センター東	84	94	178	14.8
塚本東	198	391	589	49.1
塚本	146	231	377	31.4
肥田入口	93	125	218	18.2
西部コミュニティセンター	42	75	117	9.8
ファミリーマート函南塚本店	17	15	32	2.7
道の駅伊豆ゲートウェイ函南	582	624	1,206	100.5
26 停留所	9,402	7,878	17,280	55.4

資料４

４　利用者アンケートについて

2023（令和 5）年４月 1 日より実証運行の拠点循環バスについて、当路線の利用実態の把握、利用にあたっての評価などを把握するため、「拠点循環バス（実証運行）利用者意向調査」を実施しました。

利用者へ、利用の理由、目的、循環バス運行のどのようなことを満足・重要と感じているか等を中心にアンケート調査を行い、352 人から回答を得ました。

【考察】

●循環バスの利用者アンケートの回答者（352 人）は、「柏谷（43.5%）」の居住者が多く、利用が多いバス停は、「わかくさ共同作業所」、「柏谷公園西」、「伊豆仁田駅」であり、循環バスは主に柏谷方面と中心市街地および伊豆仁田駅の移動の需要を担っているといえます。

●うち、普段から循環バスを利用する回答者（277 人）において、利用目的は「買い物・飲食」が 52.7%を占めており、また、約半数が「週 2～3 回程度」以上の頻度で利用しており、利用者にとって循環バスが日常生活の移動手段となっていることがうかがえます。

●これらの利用者の自宅は、バス停から徒歩５分以内が 63.5%を占めており、また、バス停から目的地までも徒歩５分以内が 70.0%で、循環バス利用の理由として「自宅からバス停が近い（65.3%）」、「目的地とバス停が近い（25.6%）」が多く挙げられていることと合致しています。

●循環バスは「通勤」にも使用されており（12.3%）、「伊豆仁田駅」バス停での乗降が多く、「伊豆箱根鉄道駿豆線」への乗り継ぎ（18.8%）がみられます。

●回答者の 58.5%は運転免許を保有せず、77.3%は自家用車を所有しておらず、循環バス利用の理由として「他に移動手段がない」も 31.8%と多く挙げられていることから、循環バスが自立した日常生活を送るうえで不可欠なものとなってくることが推測されます。

●循環バス利用者にとって、重要度が高くかつ満足度が低い項目は、「運行本数」、「運行時刻（ダイヤ）」であり、これらについては今後改善の検討の必要性があると思われます。

●「料金」については、重要度が高くかつ満足度が高くなっており、現状の料金体系が評価されていると捉えられます。

資料４

５　今後について

目標値は、未達となっているものの、運行形態がバス車両からジャンボタクシー車両に変更し、2024 年６月１日より運行再開したばかりである。このため、運行を継続し、新たな課題を把握するほか、タクシー事業者による委託運行であることから、デマンド運行の検討や利用者が減少する時間帯の廃止など、効率的な運行に向けて、実証運行により検証し、本格運行への移行を検討していく。

６　10 月からの計画について

① 実証運行期間について

令和６年 10 月１日から令和７年３月 31 日まで

② 運行方法

第３期実証実行と同様（現運行方法）

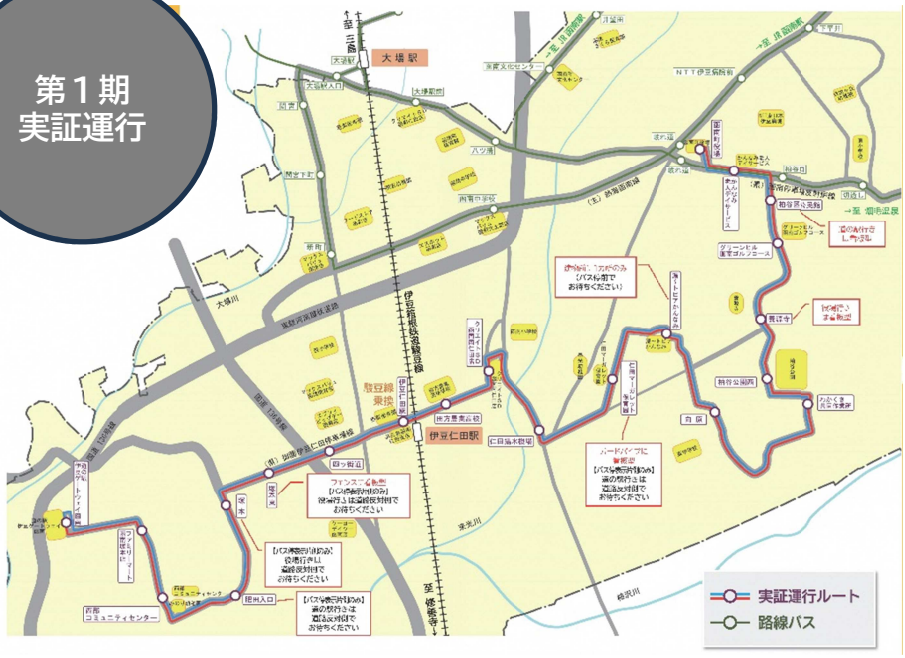
③ 第３期実証実行の運行実績（６月）

	利用者数（人）	１便あたり利用者数			
		道の駅行き		役場行き	
		（平日）	（土日祝）	（平日）	（土日祝）
R6.6 月	416	1.5	1.3	1.4	1.1

資料４

【参考】拠点循環バス　ルート図

第１期
実証運行



第２・３期
実証運行